

2011年度（設立年度）一般社団法人日本液晶学会 第2回理事会 議事録

日時：2012年4月7日（土）13：00～18：50

場所：日本液晶学会事務局（株）アドスリー 会議室

出席：中村尚武、清水洋、奥村治彦、藤掛英夫、菊池裕嗣、沓水祥一、森武洋、宮下哲哉、
石原將市、小村真一、能勢敏明、安武幹雄、氏家誠司、真崎仁詩、一ノ瀬秀男、木村宗弘

欠席：海田由里子

オブザーバー：福田幹夫、諸星宗一（（株）アドスリー、事務局）

参考人：加藤隆史（東大）国際液晶学会理事

総務委員会

報告および審議事項

[審議事項]

1. 理事会でのオブザーバー・参考人の招致手続き（会長承認）と代理出席可否（不可）について（承認）
2. 理事会議案資料の事前配布（発議本人）とメール審議実施の是非（会長と総務で判断）について（承認）
3. 新理事の委嘱状の発行について（学会事務局に申請）（承認）
4. 外部イベントへの学会協賛の手続きについて（承認）
5. 外部表彰、研究助成等に対する学会・会長の推薦について（継続審議）
6. 役員候補者選挙、代議員選挙、学会賞選考、名誉会員選出の実施スケジュールについて（承認）
4月中旬～下旬：HP記事掲載（選挙当選者数の事前告示義務）、メーリング、学会誌掲載
6月末日：すべての公募の締切
7月初めの理事会：理事会推薦も含めて候補者すべてを承認・確定（学会賞はここで確定）
7月中旬：役員候補者／代議員選挙の投票用紙発送（2W前に候補者告示義務）
8月初旬：役員候補者／代議員選挙投票の締切と開票
8月中旬～下旬：選挙結果の公示と代議員に総会出席依頼（総会1W前に通知義務）
9月初旬の総会：役員承認、名誉会員承認、学会賞表彰
総会後の翌日：第1回新理事会を開催して、会長・副会長を選出・承認
(出席する新理事全員の記名・捺印が必要)
7. 名誉会員の推薦に関する規定の改定案について（承認）
8. 日本液晶学会寄付金規則の改定案について（承認）
9. 学会表彰規定の改定案（業績賞の見直し）について（承認）
10. 学会賞表彰委員会の運用について
委員構成、委員会開催、審査基準、留意事項について（承認）
11. 役員候補者選考委員会（理事3名および理事以外の正会員10名以内）（承認）
委員長：奥村副会長
委員：藤掛（総務）、沓水（財務）、正会員として小野、井上、花崎に加えて
橋本（シチズン）、加藤（日本ゼオン）に打診する。
12. 役員候補者選挙、代議員選挙、学会賞公募、名誉会員推薦のホームページ掲載文案およびメーリング案内について（一部表現を改訂して承認）
13. 名誉会員審議委員会の設置について（承認）
委員長：会長、委員4名（副会長2名、総務理事2名）
14. 役員候補者選挙管理委員会の設置について（理事2名、開票立会人は安武・真崎）（承認）

15. 代議員選挙管理委員会の設置について（規定にないが公正を期すため理事2名以上で設置。開票立会人は安武・真崎）（承認）
16. 役員および代議員の補欠選挙の必要性について（承認）
17. 法人化および今後の役員登記に伴う法律事務所の委託費用について（承認）
役員選任規定の改定費用請求に基づく法律事務所への支払い（承認）
次年度役員交代の登記手続きに関する委託と見積り（承認）
18. 旧学会理事の任期終了期日について（資産譲渡が完了次第、任期満了（月末日）とする）（承認）
19. 第6回日伊液晶ワークショップからの国際活動資産の申請について（承認）
20. ADMD2012（16th INTERNATIONAL SYMPOSIUM On Advanced Display Materials and Devices）への協賛依頼について（承認）
21. Asian Liquid Crystal Conference の開催計画案について（承認）
講演会討論会との同時開催をせずに、独立開催の方向で進める。（承認）
予算については国際学術活動資産の1件の上限を超えないように検討する。（継続審議）
22. International Liquid Crystal Conference の誘致について（承認）
加藤隆史先生（東大）による開催地決定の経緯について現況説明がなされ、誘致に関しては相当前からの詳細な予定を組み、かつ予算を立て、具体化に向けて進む必要があるとの認識で一致した。
23. 日本液晶学会法人化記念講演会の開催報告（承認）
国際学術活動資産の上限100万円を超える支出について（承認）
100万円を国際学術活動資産から支出し、それを超えた支出については一般会計から執行する。
24. 男女共同参画学協会連絡会の要望書への賛同依頼について（保留）
25. 日本真空学会関西支部&日本表面科学会関西支部合同セミナー2012への協賛について（承認）
26. 将来ビジョン検討委員会の今後の活動について（承認）

財務委員会

報告および審議事項

[報告事項]

1. 資料に基づき、旧学会2011年度決算が報告された。
2. 資料に基づき、旧学会銀行口座の移動と資産の取りまとめ状況の説明があった。

[審議事項]

1. 新学会初期資産確定
2012年3月30日付けで旧学会一般会計用口座である みずほ銀行赤坂支店普通預金口座の全金額を三菱東京UFJ銀行東中野支店決済用普通口座に移すことで、新学会の初期資産を確定することが報告され、承認された。その後、みずほ銀行赤坂支店普通預金口座に振り込まれたお金は全て新学会の会計として処理することも承認された。
2. 資料に基づき、新学会設立に伴うアドスリーとの事務業務委託契約の更新について説明があり、1～6月分の業務委託費を1,125,000円に増額することが承認された。あわせて法人化に伴う取引銀行変更の際の追加経費69,480円が承認された。
3. 資料に基づき、新学会の予算・決算承認手続きとその問題点について説明があり、審議したが、結論は持ち越された。（その後、新学会設立年度（2011年12月～2012年6月期）決算と2013年7月～2014年6月期予算の審議のために、8/11（土）に臨時理事会を開催されることとなった）

編集委員会

報告および審議事項

[報告事項]

会誌進捗状況

1. 10月号
(巻頭言1, 総説1, 解説4, 講座1, 研究室紹介1, 学会報告:2)
2. 1月号
(巻頭言1(会長), 総説2, 解説4, 講座1, 研究室紹介1,
学会報告2, 日本液晶学会名誉会員と日本液晶学会賞の紹介記事)
3. 4月号・学会賞受賞記念特集号
(巻頭言1, 総説3, 解説3, 講座0, 研究室紹介1, 学会報告1)
4. 7月号
(編集担当者と役割の決定, 記事調整中)

[審議事項]

学会誌別刷のPDFファイルでの販売について(次回審議)

情報委員会

報告および審議事項

[報告事項]

1. 液晶討論会受付システム
J-STAGE2終了に伴い、今年度より液晶討論会受付システムをアドスリーに依頼すること及びそのスケジュールを報告した。
2. 汎用JPドメイン名登録者名の変更
ファーストサーバ(株)との汎用JPドメインの契約において、登録者(名義)名を2/14付けにて“一般社団法人日本液晶学会”に変更した。
3. Web更新・MLメンテナンス
定常のメンテナンス、掲示、アナウンス、ニュースレターの発行を行った。

行事委員会

報告および審議事項

[報告事項]

1. 2012年日本液晶学会討論会について
日時: 2012年9月5日(水)~7日(金)、場所: 千葉大学 西千葉キャンパス(千葉市稲毛区弥生町1-33)、現地実行委員長: 幸本重男(千葉大学)、発表申込期間: 2012年5月9日(水)~5月30日(水)、予稿入稿期間: 2011年7月13日(水)~27日(水)。
2. 2012年日本液晶学会講演会について
日時: 2012年9月4日(火)、場所: 千葉大学 西千葉キャンパス 総合校舎 B号館(千葉市稲毛区弥生町1-33)、テーマ: 「法人化記念講演 - 液晶の研究活動の現在および将来 -」講演予定内容(敬称略): 基調講演1 LCDの発展と今後の展開(仮題) シャープ(株) 研究開発本部 ディスプレイ技術研究所 第一研究室 宮地弘一、基調講演2 液晶と高分子複合による機能発現、九州大学 先端物質化学研究所 菊池裕嗣、3. 研究フォーラムからの最近の話題、3. 1 液晶物性・

物理研究フォーラム「液晶の表面配向と配向膜」(仮題) 大阪産業大学 デザイン工学部 宇佐美清章、3. 2 液晶化学・材料研究フォーラム「液晶/エラストマーのハイブリッド化が生む多様な刺激応答特性」京都大学大学院工学研究科材料化学専攻 浦山健治、3. 3 液晶ディスプレイ研究フォーラム「エレクトロニクス応用に向けたグラフェンとナノチューブの創製」九州大学 先端物質化学研究所 融合材料部門 吾郷浩樹、3. 4 液晶フォトンクス・光デバイス研究フォーラム「液晶光学デバイスと光学機器への応用」シチズンホールディングス(株) 開発部光応用技術開発課 橋本信幸、3. 5 ソフトマター研究フォーラム「サーモトロピック液晶とリオトロピック液晶の統一に向けて」筑波大学 数理物質系 齋藤一弥、3. 6 分子配向エレクトロニクス研究フォーラム「分子配向エレクトロニクスに関連する話題」(仮題) 大阪大学大学院工学研究科 尾崎雅則

3. 2012年日本液晶学会サマースクールについて

日 時: 7月19日(木)~7月21日(土) / 申込締切6月28日(木)、場所: 埼玉県上尾市原市315むさしのグランドホテル、定員: 50名、内容: 検討中、W G: WG委員: 石川(東工大)、太田(信州大)、菊池(九大)、木村(長岡技大)、杓水(岐阜大)、小村(日立ディスプレイズ)、豊岡(JX日鉱日石)、舟橋(香川大)、西山(DIC)、野平(埼玉大・名誉教授)、森武(防衛大)、氏家(大分大)、安武(埼玉大) (敬称略)。

タイムスケジュール: 昨年の踏襲する予定

テキスト: 冊子体を当日配付。加えて予習を希望する参加者に事前にWebで公開。

[審議事項]

1. 2012日本液晶学会講演会講演会参加費について(承認)

一般(会員事前¥4,000、会員当日¥5,000、非会員事前¥5,000、非会員当日¥4,000)、学生(事前、会員当日、非会員事前、非会員当日) ¥500、講演会要旨集追加購入1冊2,000円。

2. 2012日本液晶学会討論会について

1) 討論会参加費について(承認)

一般(会員事前¥8,000、会員当日¥10,000、非会員事前¥16,000、非会員当日¥18,000)、学生(会員事前¥3,000、会員当日¥4,000、非会員事前¥6,000、非会員当日¥7,000)、討論会予稿CD追加購入1枚3,000円。

2) 討論会予稿集(印刷物)について(承認)

事前予約価格1冊2,500円、当日1冊3,500円(当日は60冊限定)。

3) 懇親会参加費について(承認)

一般(会員事前¥5,000、会員当日¥6,000、非会員事前¥5,000、非会員当日¥6,000)、学生(会員事前¥2,000、会員当日¥3,000、非会員事前¥2,000、非会員当日¥3,000)。

3. 事前登録方法について(承認)

事前登録期間: 講演会, 討論会とも2012年5月16日(水)~7月30日(月)までに振り込みされない場合は、事前登録講演会・討論会・懇親会の参加費は、当日の金額を適応する。

4. 2012年日本液晶学会サマースクールの参加費について(承認)

参加費: 一般会員: 50,000円(賛助会員企業の方は5名まで1人50,000円)、一般非会員: 60,000円、学生会員: 20,000円、学生非会員: 25,000円。

会員委員会

報告および審議事項

[報告事項]

1. 会員数の確定（2012年2月29日現在）
2. FPD インターナショナル 2012(2012/10/31～11/2)へのブース出展の申し込みを行った。

[審議事項]

1. 入退会者の承認について（承認）

研究委員会

報告および審議事項

[報告事項]

1. フォーラム主査の任期期間
2012年より理事の任期期間に合わせて変更。

2. 液晶学会講演会

日時：2012年9月4日（火）

場所：千葉大学 西千葉キャンパス 総合校舎 B 号館 （千葉市稲毛区弥生町 1-33）

テーマ：「法人化記念講演 - 液晶の研究活動の現在および将来 -」

講演会概要：2011年12月、日本液晶学会は一般社団法人として新たな歴史を刻み始めた。これを記念して、研究機関および産業界より基調講演をいただく。また、学会で主な研究活動を担っている6つのフォーラムより、それぞれの分野における最近の興味深い話題を紹介する。本講演会により、今後の液晶の研究動向が見えてくる。

講演予定内容

1. 基調講演 1 LCDの発展と今後の展開（仮題）
シャープ(株) 研究開発本部 ディ스플레이技術研究所 第一研究室
宮地弘一 氏
2. 基調講演 2 液晶と高分子複合による機能発現
九州大学 先導物質化学研究所
菊池裕嗣 先生
3. 研究フォーラムからの最近の話題
3. 1 液晶物性・物理研究フォーラム
「液晶の表面配向と配向膜」（仮題）
大阪産業大学 デザイン工学部
宇佐美清章 先生
3. 2 液晶化学・材料研究フォーラム
「液晶／エラストマーのハイブリッド化が生む多様な刺激応答特性」
京都大学大学院、工学研究科材料化学専攻
浦山健治 先生
3. 3 液晶ディスプレイ研究フォーラム
「エレクトロニクス応用に向けたグラフェンとナノチューブの創製」
九州大学 先導物質化学研究所 融合材料部門

吾郷浩樹 先生

3. 4 液晶フォトンクス・光デバイス研究フォーラム

「液晶光学デバイスと光学機器への応用」

シチズンホールディングス（株）開発部光応用技術開発課

橋本信幸 氏

3. 5 ソフトマター研究フォーラム

「サーモトロピック液晶とリオトロピック液晶の統一に向けて」

筑波大学 数理物質系

齋藤一弥 先生

3. 6 分子配向エレクトロニクス研究フォーラム

「分子配向エレクトロニクスに関連する話題」（仮題）

大阪大学大学院 工学研究科

尾崎雅則 先生

4. フォーラム研究会開催案内

4. 1 第3回光・電子材料研究会

主催：香川大学工学部光電子材料研究会

日本液晶学会分子配向エレクトロニクスフォーラム

日本化学会中四国支部

後援：日本化学会新研究領域グループ「エキゾティック自己組織化材料」

協賛：応用物理学会有機分子バイオエレクトロニクス分科会（予定）、高分子学会（予定）

会場・日時：2012年5月25日（金） 香川大学工学部3101教室

2012年5月26日（土） 塩江温泉 新樺川観光ホテル 会議室

宿泊・懇親会：2012年5月25日（金） 塩江温泉 新樺川観光ホテル

趣旨：

近年、有機エレクトロニクスの研究の流れが FET から太陽電池に広がり、有機材料の光機能と電子機能を再検討する必要が認識されている。それに加えて、分子の自己組織化に基づいた材料設計という考え方が、注目されるようになってきている。無機光機能材料においても、自己組織化による構造制御が重要になってきている。本研究会では、分子の凝集構造の制御と光電子機能材料の創製をテーマに、合宿形式で講演と討論を行う。

プログラム：

2012年5月25日（金）

13：00 開会の辞 石井知彦（香川大学工学部）

13：05 趣旨説明 舟橋正浩

（香川大学工学部、日本液晶学会分子配向エレクトロニクスフォーラム主査）

13：10 招待講演1 原口雅宣（徳島大学工学部）鶴町先生交渉中

「プラズモニクス関連」

14：10 招待講演2 尾崎雅則（大阪大学大学院工学系研究科）

「有機薄膜太陽電池関係」 舟橋正浩交渉中

15：10~15：30 休憩

15：30 依頼講演1 石川謙（東京工業大学大学院理工学研究科）内諾

「フタロシアニンを用いた FET」

16:00 依頼講演 2 内藤昌信 (物質材料研究機構) 内諾

「ポリシランの合成と物性」

16:30 依頼講演 3 近藤久雄 (愛媛大学大学院理工学研究科) 鶴町先生交渉中

「アントラセン単結晶の光物性」

17:00 塩江温泉に移動

19:00 懇親会、および、討論

2012年5月26日(土)

9:00 招待講演 3 太田和親 (信州大学繊維工学部) 内諾

「液晶性フタロシアニン」

10:00 依頼講演 4 中西尚志 (物質材料研究機構) 内諾

「フラーレン、ナノチューブ関係」

10:30 若手講演 1 香川大学博士課程学生 (鶴町研石井君?)

「有機色素薄膜共振器ポラリトン」

11:00 依頼公演 5 石川善恵 (香川大学工学部) 交渉中

「レーザーアブレーションによるチタニアナノ粒子の作製と光物性」

11:30 閉会の辞 鶴町徳昭 (香川大学工学部)

11:35 解散

正会員 18000 円 (参加費 3000 円 + 宿泊費 14000 円 + 1000 円)

非会員 20000 円 (参加費 5000 円 + 宿泊費 14000 円 + 1000 円)

学生会員 15000 円 (宿泊費 14000 円 + 1000 円)

参加予定運営委員

香川大学工学部: 石井知彦、鶴町徳昭、舟橋正浩

日本液晶学会: 石川謙、吉本尚起、舟橋正浩

エキゾテック自己組織化材料グループ: 中西尚志、内藤昌信、舟橋正浩

4. 2 ソフトマターフォーラム・勉強会

「ブルー相を語り合う」

ブルー相は構造も機能も複雑で魅力的であり、理論・実験、物理・化学の各分野で着実な研究が行われている。しかしながら、各分野間での情報交換あるいは議論は必ずしも十分でないような感じである。同じ分野の人間だけ集まって議論を重ねると、判らないところが皆同じなのであまり進歩がない。

そこで、今回、ブルー相について各分野からの話題の提供をきっかけとして、日ごろ疑問に思っていることや気がついたことなどをざっくばらんに語り合う会を企画した。講師の話聞く講演会というよりも参加者も交えて自由に議論する勉強会の色彩を強く出す予定である。

勉強会世話人: 西山・福田・菊池 (イロハ順)

日時: 2012年6月26日(火) 12:30 (12:00受付開始) ~ 18:00頃

会場: 東陽テクニカ本社 (東京駅・八重洲北口から徒歩5分)・会議室

参加費: 会員 3,000円、非会員 5,000円、学生 (会員・非会員とも) 500円

プログラム (予定) (敬称略)

12:30~12:50 西山伊佐

趣旨説明「ブルー相について、今、何を語り合うべきか」

*** 話題提供 20分+議論 20分、話題提供タイトルは仮題 ***

12:50~13:30 苗村省平

「ブルー相の前にアキラな系の復習として

- らせんをもたない液晶秩序構造の局所的な回転対称性について -」

13:30~14:10 福田順一

「ブルー相に関する『誤解』を正す？」

14:10~14:50 吉澤 篤

「分子構造からみたブルー相発現の要因」

14:50~15:10 ♪休憩(20分)♪

15:10~15:50 菊池裕嗣

「フラストレーションとブルー相」

15:50~16:30 山本 潤

「ブルー相とソフトマター系における普遍性とアナロジー

- 共連結構造のトポロジーとダイナミクス -」

16:30~18:00 総合討論

18:00 閉会 菊池裕嗣

18:30頃~ 有志による会費制懇親会(東京駅近郊予定・詳細未定)

申し込み・問い合わせ先: 福田順一(産総研) fukuda.jun-ichi@aist.go.jp

[参加申込締め切り] 6月19日(火)

[審議事項]

1. 講演会参加費について(事後承認願ひ)(承認)

過去3年の実績及び最近の経済状況より、残念ながら2012年も参加者の減少を考慮する必要ある。従って、一般は、昨年より1000円高い、一昨年の金額に設定した。なお、講演会要旨集追加購入は昨年と同じ設定にした。

2009年(東京): 176名

2010年(九州): 167名

2011年(東京): 112名

一般		学生	
会員事前	¥4,000	会員事前	¥500
会員当日	¥5,000	会員当日	¥500
非会員事前	¥5,000	非会員事前	¥500
非会員当日	¥6,000	非会員当日	¥500

【講演会要旨集追加購入】事前, 当日とも1冊につき2,000円

2. フォーラム規則(承認)

フォーラム規則の制定時期を、法人化と同時にする。

3. 2012年事業計画について(承認)

フォーラム	時期	場所	内容
合同(分子配向幹事)	11月22日	常翔学園大阪センター	未定
物理・物性	未定	未定	生体と液晶(仮)
化学・材料	秋以降	中部大学(予定)	ゲルやアクチュエータ
ディスプレイ	6~7月	東陽テクニカ(東京)	LCDの周辺材料
ソフトマター	6月26日	東陽テクニカ(東京)	フォーラム勉強会「ブルー相を語り合う」
フォトニクス・光デバイス	未定	未定	未定(他フォーラムと共催)
分子配向	5月25-26日	香川大学 塩江温泉	「エキゾチック自己組織化材料」 日本化学会中国四国支部香川地区化学講演会/日本液晶学会分子配向エレクトロニクスフォーラム講演会/香川大学光電子材料研究会・合同講演会